

## 三菱自動車、コンパクト SUV コンセプトカー『MITSUBISHI XFC CONCEPT』を世界初披露

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤隆雄、以下三菱自動車）はベトナムモーターショー2022に先駆け、本日、ベトナム・ホーチミン市で報道発表会を実施し、コンパクト SUV コンセプトカー『MITSUBISHI XFC CONCEPT（三菱エックスエフシーコンセプト）』を世界初披露しました。今後、同モデルは10月26日（水）から30日（日）まで開催されるベトナムモーターショー2022に参考出品、一般公開します。

三菱自動車はアセアン市場向けにピックアップトラック『トライトン』と同車派生のミッドサイズ SUV『パジェロスポーツ』、ミッドサイズ SUV『アウトランダー』及び『アウトランダーPHEV』、クロスオーバーMPV『エクスパンダー』及び『エクスパンダー クロス』、コンパクトハッチバック『ミラージュ』と同セダン『アトラージュ』など幅広いラインナップにより、地域に最適な商品を展開しています。今回発表するコンセプトカー『MITSUBISHI XFC CONCEPT』は、アセアンの現行ラインナップにない待望のコンパクト SUV です。

当社社長の加藤隆雄は「新型コンパクト SUV は2023年度にベトナムを含むアセアン各国に順次投入していきます。将来的には電動車の追加や、アセアン以外の地域にも展開する計画であり、アセアン戦略車から世界戦略車となり当社の販売を牽引するクロスオーバーMPV『エクスパンダー』のような主力車種に育てていきたい」と期待を語っています。



『MITSUBISHI XFC CONCEPT』

## ●コンセプトカー概要

『MITSUBISHI XFC CONCEPT』は、「Best suited buddy for an exciting life (毎日を愉しく過ごすことができる頼もしい相棒)」をコンセプトに、SUVらしい力強く堂々としたデザイン、運転のしやすさや十分なラゲッジルームといった実用性、クラストップレベルの居住空間などの快適性、荒れた路面や激しい降雨による冠水路でも安心・安全の走破性を実現した、新世代のコンパクト SUV です。

### (1) 力強く堂々としたデザイン

三菱自動車のデザインフィロソフィー「Robust & Ingenious」のもと、コンパクトでありながら SUVらしい力強く堂々とした佇まいと、フロントのスリーダイヤから始まり、サイド、リヤへと流れるように続くスリークなサーフェイスを融合させ、アセアンの都会に合うスタイリッシュでスポーティな造形としました。一方で、しっかりと確保した最低地上高と大径タイヤによって悪路走破性を高め、堅牢性と敏捷性を表現し、アウトドアシーンでも存在感を発揮する本格的な SUV スタイルングとしています。

フロントフェイスは、パフォーマンスとプロテクションを表現する「ダイナミックシールド」を、コンセプトに合わせて進化させました。ヘッドライトユニットは、上部のL字型のヘッドライトと下部のスリット状のデイタイムランニングランプを一体化してT字型に発光させるアイコンックなデザインとし、ワイド感を強調しています。ボディサイドは張りのある豊かな面構成とし、彫刻的な前後フェンダーアーチやキャラクターラインを施し、SUVの力強さや躍動感を表現しています。リヤもフロントと同様にT字型のテールランプを採用し、ワイドで安定感のあるリヤスタイルを実現しています。

インテリアでは、SUVとして重要な運転のしやすさ、居住性の高さにこだわりました。インストルメントパネルには水平基調のデザインを採用。前方の視認性を高めるとともに、悪路走行時の車体姿勢の変化をつかみやすくしています。インストルメントパネルからドアトリムまでつながるダイナミックな形状とし、さらにソフト素材で巻いたパッドを連続させることで、包まれ感、守られ感を演出し、安心で快適なインテリアを追求しました。



(2) 運転のしやすさや十分なラゲッジルームなどの実用性

良好な前方視界を確保し、見切りがよく取り回しやすいといった運転のしやすさを追求しました。インストルメントパネルにはフル液晶ドライバーディスプレイとセンターディスプレイを一体化した大型パネルを採用し、ナビゲーションや路面状況など運転に必要な情報を3画面で表示可能とすることで、先進性を表現しながら、安心して快適な運転環境を提供します。また、コンパクトサイズのボディでありながら、十分なラゲッジルームを確保するなど実用性を追求しました。

(3) クラストップレベルの居住空間などの快適性

コンパクト SUV ながら広々とした室内空間を実現。特に後席ではゆとりある足元スペースなどクラストップレベルの快適性を実現。また、滑りやすい路面で車両を安定させる制御や上質な乗り心地によって、乗る人すべてが快適にお過ごしいただけます。

(4) 荒れた路面や冠水路でも安心・安全の走破性

最低地上高をしっかりと確保し、NORMAL (ノーマル)、WET (ウェット)、GRAVEL (グラベル)、MUD (マッド) の4つのドライブモードを設定することで、さまざまな天候や路面でも安心・安全にドライブを楽しめます。三菱自動車初採用となるウェットモードでは、スコールによる冠水路でも安心して走行できるなど、アセアンでの使い方を熟慮しています。

以上